

日本語教育機関教育活動評価

自己点検・評価票

日本語教育機関名： 共立日本語学校

点検・評価項目						
1. 目的及び目標の達成状況		評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
1.1	「理念」が「日本語教育を実施するにあたり、最も高い価値を置いている基本的方針」かつ「他機関から区別できる独自の特色を示すもの」になっているか？	Ⓐ B, C	「学ぶ力」から「活かす力」へ高め・・・という点で日本語教育から得た知識を積極的に発信し、その場でのコミュニケーション力をさらに高めている。	日々の挨拶の変化から各公共機関での手続きまで自立した様子が見えてくる。	特になし	学生の行動、職員会議の議事録、研修会のアンケート
1.2	「目標」が『理念』を形にするために設定する、教育上の具体的な達成状況、かつ「達成できたかどうかを確認可能なもの」になっているか？	Ⓐ B, C	なっている。	経営計画策定時に教職員で確認している。	特になし	経営計画書、職員会議の議事録、研修会のアンケート
1.3	「理念」と「目標」とが、お互いにどのように関連しあっているかを説明できるか？	Ⓐ B, C	説明できる	教職員間で情報交換、意見交換など常にあり、皆が認識している。	特になし	学生の行動、職員会議の議事録、研修会のアンケート
2. 教員及び職員の組織運営		評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
2.1	認定日本語教育機関の認定基準に適合していることを年1回以上確認している。	A Ⓑ C	2024年10月開校の新規校の為、2026年5月に実施予定。	告示基準第1条第1項第45号	2026年5月に実施	告示基準第1条第1項第45号
2.2	校長、主任教員、専任教員、非常勤教員、事務局統括職員、事務職員の職務内容及び責任と権限を明確に定め、かつ、教職員間で周知されている。	Ⓐ B, C	職務規程で明確になっており、周知されている	毎月の職員会議で確認。	特になし	組織図(職務内容と担当者と権限)、各会議の議事録、
2.3	管理、運営のための諸規程を整備し、規定に基づいた運営が効果を上げている。	A Ⓑ C	設立後間もないので、諸規定整備中	現在は必要に応じて稟議書で対応しているが、規程を決めた方が良いものは順次整備している。	定期的に社内稟議書を集計して、必要な規定を整備する。	社内稟議書、各会議の議事録、研修記録、
2.4	予算編成が適切になされ、明確なルールにより執行している。	Ⓐ B, C	ルールがあり、適切に執行している。	総合推移財務報告書を作り、毎月の職員会議で確認。	特になし	収支予算書、総合推移財務報告書、各会議の議事録
2.5	短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。	Ⓐ B, C	1年計画と3年の中期計画を作り、職員会議で共有されている。	6月の職員会議で、計画を職員に説明。	特になし	収支計画書、中期計画書、各会議の議事録
2.6	運営や教育活動に必要な情報を教職員間で共有する仕組みがあり、機能している。	Ⓐ B, C	仕組みがあり、共有している。	毎月の職員会議や研修会で確認し、必要な資料は共有ホルダーで共有	特になし	研修記録、各会議の議事録、共有ホルダー
2.7	教育内容を含む最新、かつ、正確な学校情報を開示していて、入学志願者の理解できる言語で行うよう努めている。	A Ⓑ C	日本語のものはある。	入学志願者の理解できる言語においては作成中	今年度中に作成	当校学校ホームページ
2.8	コンプライアンス意識向上のため担当者を定めて取組を行い、効果が出ている。	A, B, Ⓒ	設立後間もないので、諸規定整備中	担当職員を含め検討中	担当者を決め、実施のプランを策定する。	本校の事業計画書、認定日本語教育機関の認定等に当たり確認すべき事項
2.9	授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処している。	Ⓐ B, C	適切に対処している。	学生の出身国の通訳兼相談担当者を置いているため教務や総務で対応できないことは常時国別担当者が適切に対処している	特になし	生徒指導記録、各会議の議事録、

2.10	関係官庁への届出、報告を遅滞なく行っている。	A, B, C	遅滞なく行っている	教務・校長・主任と総務職員と常時確認、遅滞なく行っている	特になし	日本語教育機関に係る各種変更の取扱いについて、日本語教育機関の告示基準に基づく各種報告について、報告書
2.11	外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがある。	A, B, C	仕組みがある。	日振協や学会の会合に出席して、その情報を職員会議で共有している。	特になし	研修記録、各会議の議事録、共有ホルダー
2.12	業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。	A, B, C	行われている。	開校準備期間から大きくは3カ月ごとの計画及びそこから更に1か月・1週間ごとの計画で組織的に行われている	特になし	3か月計画書、各会議の議事録、
2.13	教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に努めている。	A, B, C	防止等に努めている。	校内で行われる授業、休憩時間はもちろん、校外での振る舞いにも目を配っている。また問題があれば教職員が対処に当たり、ハラスメント防止に努めている。	特になし	各会議の議事録、認定日本語教育機関の認定等に当たり確認すべき事項
2.14	個人情報保護のための対策をとっている。	A, B, C	対策をとっている。	個人情報に当たるものはすべてカギのかかる書棚で保管し、必要な時には上長の許可がある。	特になし	各会議の議事録、認定日本語教育機関の認定等に当たり確認すべき事項
3. 施設及び設備		評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
3.1	教室内は十分な照度があり換気がなされているとともに、必要な遮音性が保たれている。	A, B, C	保たれている	全ての教室に開閉式の窓、エアコンなどの設備設置している。	特になし	学則、各会議の議事録、認定日本語教育機関の認定等に当たり確認すべき事項
3.2	視聴覚教材やICTを活用した授業が可能な教育用機器及び設備が備わっている。	A, B, C	設備は整っている	大型電子黒板を設置している。	特になし	
3.3	授業時間外に自習できるスペースおよびリソースを提供している。	A, B, C	自習スペースあり。	定員収納より、以上の教室数	特になし	
3.4	教育内容及び学生数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	A, B, C	利用可能。	図書やメディアが整備されている。	特になし	
3.5	教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	A, B, C	確保している。	非常動用執務スペースもあり	特になし	
3.6	法令上必要な設備等を備えている。	A, B, C	備えている	設備等を定期的に確認している。	特になし	
3.7	廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	A, B, C	問題ない。	緊急時に危険がない。	特になし	
3.8	バリアフリー対策を施している。	A, B, C	対策を施している。	階段手摺、エレベーター完備。	特になし	
3.9	施設、設備の定期的な安全点検が行われている。	A, B, C	行われている。	法令に基づいたメンテナンスをしている。	特になし	
3.10	学校の衛生管理を行っている。	A, B, C	行っている。	毎日の清掃ほか、業者による定期的な清掃、および消毒液・マスクなどを常時完備	特になし	
4. 日本語教育課程の編成及び実施		評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
4.1	教育目標に合致した教育活動の計画を作成している。	A, B, C	作成している	年間予定表を作成している。	特になし	学則、研修記録、各会議の議事録、共有ホルダー、カリ
4.2	理念と教育目標達成のためのカリキュラムを編成している。	A, B, C	編成している	理念に沿ったカリキュラム、シラバスを作成している。	特になし	
4.3	学生の熟達度を、特定の試験の成績だけで判定するのではなく、「日本語教育の参照枠」の枠組みの中に位置づけて理解する試みを行っている。	A, B, C	理解する試みを行っている。	「日本語教育の参照枠」の枠組みに沿ったカリキュラム、シラバスを作成している。	特になし	
4.4	理念及び教育目標に適合した教材が選択、又は制作されている。	A, B, C	選択されている	理念に沿った教材を選定し作成している。	特になし	

4.5	教育活動を適切に実施するための手立てを講じている。	A B, C	講じている	年間計画、定期的な研修及び勉強会	特になし	キュラム、シラバス、年間予定表
4.6	教育活動の計画が教員全体に周知されている。	A B, C	周知されている	計画表の配布・表示	特になし	
4.7	学生の日本語能力を試験等により判定し、適切なクラス編成を行っている。	A B, C	行っている	クラス編成は能力別	特になし	
4.8	当該学期の学習内容及び学習予定等を学生に開示している。	A B, C	開示している。	オリエンテーション時や教科書配布とともに予定表開示	特になし	
4.9	出席簿を備え、正確に記録している。教育活動の振り返りと改善に活かせるような形で授業記録簿を残し、記録内容を関係教員間で共有している。	A B, C	共有している	出席はタイムカード、出席簿。点呼の3点で確認。授業記録、成績表、ポートフォリオのファイルを整備している。	特になし	タイムカード、出席簿、授業記録、成績表、ポートフォリオ
4.10	学習成績の判定基準及び方法が定められ開示されている。また判定結果を的確に学生に伝えている。	A B, C	伝えている	合格点、再試験など判定基準のほか、ループリックなど公開	特になし	学則、オリエンテーション資料、共有フォルダー
4.11	授業を含む教育活動全体の検証を定期的かつ適切に行っている。	A B, C	適切に行っている。	テキスト勉強会、副教材使用研修会、OJTを行い教育活動の検証も行っている。	特になし	研修記録、各会議の議事録、
4.12	検証のための体制、方法及び評価の基準を定めている。	A B, C	体制があり、方法や基準を定めている。	教育活動の見直しは、主任教員を中心に1年毎に行う。教員研修時に複数の教員からでた課題を中心に見直しを行う。	特になし	研修記録、各会議の議事録、
4.13	学生からの評価も含む、多方向的な評価システムが導入されている。	A B, C	導入されている。	ポートフォリオ、自己評価、ピア評価、教員からの評価、学期末テスト、小テスト、外部テストなど多方面からの評価が受けられる。	特になし	成績表、ポートフォリオ、カリキュラム、シラバス
4.14	「～を実施している」ことの確認だけでなく、「それが実際に効果を上げているか」を、根拠に基づき確認できるような評価システムとなっている。	A B, C	評価システムとなっている。	CAD DOチェック表、ループリック表など形成的評価、総括的评价を組み合わせ、評価する日システムになっている。	特になし	成績表、ポートフォリオ、カリキュラム、シラバス
4.15	評価結果が教育内容や方法等のプログラム改善、教員の教育能力向上等の取組に反映されている。	A B, C	反映されている	学生の評価結果もテキスト勉強会、副教材使用研修会、OJTの内容に反映している。	特になし	研修資料、成績表、ポートフォリオ、カリキュラム、シラバス
4.16	評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。	A B, C	行われている	教師、学生ともに評価システムを開示し意見を聞くようにしている	特になし	研修記録、各会議の議事録、成績表、ポートフォリオ、カリキュラム、シラバス
5. 卒業の認定及び学習の成果		評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
5.1	判定基準及び判定方法が明確に定められ、適切に行われている。また判定基準と方法を開示している。	A B, C	開示している	オリエンテーション時に評価基準を説明	特になし	学則、オリエンテーション資料、共有フォルダー
5.2	成績判定結果を的確に学生に伝えている	A B, C	伝えている	学期毎に成績を学生に伝えている。	特になし	成績表、ポートフォリオ
5.3	判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証している。	A B, C	検証している	教師、学生ともに評価システムの意見を聞くようにしている	特になし	研修記録、各会議の議事録、成績表、ポートフォリオ、カリキュラム、シラバス

5.4	評価体制、評価方法及び評価基準が適切である。	Q A, B, C	適切である	教師、学生ともに評価システムの意見を聞くようにしている	特になし	研修記録、各会議の議事録、成績表、
5.5	入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	A A, B, C	管理している	入学時より学生台帳作成。記録保管出来ている	特になし	学生台帳
5.6	修了・卒業の判定を適切に行っている。	A A, B, C	適切に行っている	卒業の判定基準を設け行っている。	特になし	学則、成績表、学生台帳
5.7	日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	Q A, B, C	把握している	学校単位の申し込みで把握している	特になし	外部試験結果、学生台帳、各会議の議事録
6. 生徒への学習上及び生活上の支援		評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
6.1	日本社会を理解し、一構成員として活動するための取組を適切に行っている。	A A, B, C	適切に行っている。	災害時の対応・校外研修などを行うと共に、所轄機関ほか、課外授業先とも連携打ち合わせをしている	特になし	オリエンテーション資料、学期末の説明書、共有フォルダー、生活指導記録、各会議の議事録、カリキュラム
6.2	留学生生活に関するガイダンスを定期的実施し、その効果を確認している。	Q A, B, C	実施し効果を確認している。	オリエンテーション時に説明すると共に、学期末に注意事項を説明している。	特になし	
6.3	留学生生活に関する生活指導担当者が特定され、周知されている。	Q A, B, C	入学時に学生に紹介済み	オリエンテーション時に説明すると共に、学期末に注意事項を説明している。	特になし	
6.4	日本社会、日本文化を理解するための活動を行っている。	A A, B, C	活動を行っている。	授業内容に組み込む他、多彩な課外授業を実施。	特になし	
6.5	進路指導を適切に行っている。	A A, B, C	適切に行っている。	入学時の個人アンケートから進学調査、個人面談の実施進学説明会、オープンキャンパスへの参加。学校間での情報収集	特になし	学則、出席簿、学習成績表、学生台帳、生活指導記録、進路指導記録、個人アンケート、専門学校パンフレットと募集要項
6.6	進路指導担当者が特定されている。	A A, B, C	特定されている。	担任ほか、以前に多数合格を出した進学担当者がサポート	特になし	
6.7	学生の希望する進路を随時把握し、入学時から一貫した指導をしている。	A A, B, C	指導をしている。	学生本人の進路希望を進学アンケート配布で確認し、定期的な面談を行っている。	特になし	
6.8	進学及び就職に関する資料や情報を収集し、学生に提供している。	A A, B, C	提供している。	新規校とは言え、経験豊富な教師が多く、もてる知識や情報を早めに準備	特になし	
6.9	卒業後の進路を把握している。	A, B, C	新規校なのでまだ卒業生無し	学生台帳には記載事項欄あり	卒業までに把握する。	学生台帳、生活指導記録、各会議の議事録
6.10	卒業生及び修了生の状況を把握するための取組を行い、進学先、就職先等での状況や社会的評価を把握している。	A, B, C	新規校なのでまだ卒業生無し	学生台帳には記載事項欄あり	把握に努める。	
6.11	安全な留学生生活を送るための適切な取組をしている。	A A, B, C	取組をしている。	入学時のガイダンス他。警察署からのDVD指導。所轄警察官からの指導あり。授業内でも必要に応じて取り組む。	特になし	学生台帳、生活指導記録、各会議の議事録
6.12	健康、衛生面について指導する体制を整えている。	A A, B, C	整えている	年1回の健康診断と母国と違う環境の中での体調変化などに心配りし、必要な時は専門の医師に相談	特になし	学生台帳、生活指導記録、各会議の議事録

6.13	重篤な疾病や障害、交通事故に遭った場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	Ⓐ B, C	定めている	個人的な事故・疾病は学校職員付き損で専門医へ受診。感染症は発令があれば指示に従う。	特になし	危機管理マニュアル、災害時の計画書、各会議の議事録
6.14	火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法を定め、避難訓練を定期的を実施している。	Ⓐ B, C	施している。	入学時のガイダンスで説明して、避難訓練を実施している。	特になし	
6.15	必要な場合は母語等による支援体制を整えることができている。	Ⓐ B, C	支援体制あり。	当校職員のほか、国立医療センターにも確認済み	特になし	
6.16	入国・在留に関する指導及び支援を適切に行っている。	Ⓐ B, C	行っている	国別通訳付説明、本人への通知その場での確認	特になし	オリエンテーション資料、学期末の説明書、共有フォルダー、生活指導記録、各会議の議事録
6.17	入管法上の留意点について学生への伝達、指導を定期的に行っている。	Ⓐ B, C	行っている	在留カード・学生証の携帯ほか定期的または抜きうちで指導	特になし	
6.18	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者を発生させないための取組を継続的にを行い、発生を防いでいる。	Ⓐ B, C	防いでいる	資格外活動調査・アルバイト先への連絡または訪問確認	特になし	
6.19	地域の教育機関、進学先との連携・協力ができている。	A, Ⓑ C	只今活動中	共立日語学院と連携済み、専門学校とは提携活動中	特になし	協定書、各会議の議事録
6.20	学生ボランティア活動への支援を行っている。	Ⓐ B, C	行っている	ボランティアあり。定期的に地域の清掃、美化に努めている	特になし	各会議の議事録
7. 教育活動等の改善を継続的に行う仕組み		評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
7.1	教育力及び支援力強化のための取組を適切に行っている。	Ⓐ B, C	行っている	教員研修を定期的に行っている。	特になし	研修資料、人事評価規程と評価資料、各会議の議事録
7.2	教育目標達成に必要な教職員の能力及び資質を明示している。	Ⓐ B, C	明示している	人事評価システムを導入している。	特になし	
7.3	新任教員、初任教員を対象とし、明示された「必要な能力・資質」を向上させることを目的とした研修を実施している。	Ⓐ B, C	実施している	初任者教員研修やOJT研修を行っている。	特になし	
7.4	経験を問わず、所属する教職員を対象に、振り返りの機会を設け、情報の共有や成果の確認を行っている。	Ⓐ B, C	行っている。	人事評価システムを導入している。	特になし	
7.5	他機関の実施する研修会等への参加を促している。	Ⓐ B, C	促している	教員研修を定期的に行っている。	特になし	
7.6	教職員の自己評価等を含む多方向的な教職員評価を行っている。	Ⓐ B, C	行っている	人事評価システムを導入している。	特になし	
7.7	教職員評価のための体制、方法及び評価の基準を定めて、開示している。	Ⓐ B, C	開示している。	人事評価システムを導入している。	特になし	
7.8	上位者からの評価だけでなく、自己評価、相互評価、学生からの評価も含む、多方向的な評価システムが導入されている。	Ⓐ B, C	導入されている	多方向的な評価システムの人事評価システムを導入している。	特になし	
7.9	評価結果を的確に教員に伝え、それが教員の能力・資質の向上に結び付いている。	Ⓐ B, C	結びついている	人事評価システムを導入している。	特になし	
7.10	評価システムを改善していくための検討が常に行われ、実際に改善が行われている。	Ⓐ B, C	改善がみられる	年に1回人事評価システムの見直しを行っている。	特になし	
8. 財務		評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
8.1	日本語教育を継続的に行うために適切な財務状況である。	Ⓐ B, C	適切である	初年度から黒字である。	特になし	収支予算書、総合推移財務報告書、決算書、各会議の議事録
8.2	財務状況は、中長期的に安定している。	Ⓐ B, C	安定している	80%以上の学生数を確保できている。	特になし	
8.3	予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	Ⓐ B, C	保たれている	予算通りに運営出来ている。	特になし	
8.4	適正な会計監査が実施されている。	Ⓐ B, C	実施されている	税理士が監査している。	特になし	

8.5	設置母体と学校の経営が、明確に区分されている。	Ⓐ, B, C	区分されている	毎月の総合推移財務報告書から分かれている。	特になし	
9. 入学者の募集と選考		評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
9.1	適切な方法で入学者の募集を行っている。	Ⓐ, B, C	行っている	ホームページで適切な情報提供し、仲介者との契約書を交わしている。	特になし	学則、パンフレット、日本語学校ホームページ、募集要項、入学者の選考要項、入学テスト結果、仲介者との契約書、在留資格申請書と結果、各会議の議事録、認定日本語教育機関の認定等に当たり確認すべき事項
9.2	教育目標に合致した募集計画を立案し、募集地域や対象者を定めて募集活動を行っている。	Ⓐ, B, C	行っている	募集国を限定して、対象者を定めて募集を行っている。	特になし	
9.3	機関所属の職員が入学希望者に対して情報提供や入学相談を行っている。	Ⓐ, B, C	行っている	募集国に職員を派遣し、情報提供や入学相談を行っている。	特になし	
9.4	海外の募集代理人に最新かつ正確な情報提供を行っている。	Ⓐ, B, C	行っている	募集代理人と定期的に情報交換を行っている。	特になし	
9.5	海外の募集代理人の適切性を確認し、募集活動を具体的な情報により把握している。	Ⓐ, B, C	把握している	募集代理人と定期的に情報交換を行っている。	特になし	
9.6	海外の代理店等への仲介手数料は適正である。	Ⓐ, B, C	適正である。	募集代理人と定期的に情報交換を行っている。	特になし	
9.7	受け入れるコースの教育内容が入学志願者のニーズと合致することを確認している。	Ⓐ, B, C	確認している	募集国に職員を派遣し、情報提供や入学相談を行っている。	特になし	
9.8	入学選考基準及び方法が定められ、適切な体制で入学選考を行っている。	Ⓐ, B, C	行っている	募集国に職員を派遣し、選考試験を行っている。	特になし	
9.9	入学志願者の学習能力、学習意欲、日本語能力等を確認している。	Ⓐ, B, C	確認している	募集国に職員を派遣し、選考試験を行っている。	特になし	
9.10	入学志願者の情報を正確に把握し、提出された根拠資料で確認している。	Ⓐ, B, C	確認している	願書や提出された資料を精査している。	特になし	地域活動やボランティア活動の議事録、認定日本語教育機関の認定等に当たり確認すべき事項、
9.11	不法残留者を多く発生させている国からの志願者には機関所属職員が面接等の調査を行っている。	A, B, Ⓒ	基本的にはその国からの募集はしない	基本的にはその国からの募集はしない	特になし	
10. 地域貢献・社会貢献		評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
10.1	地域貢献、社会貢献となる活動を行っている。	Ⓐ, B, C	行っている。	ボランティアあり。定期的に地域の清掃、美化に努めている	特になし	地域活動やボランティア活動の議事録、認定日本語教育機関の認定等に当たり確認すべき事項、
10.2	小中学校の国際理解教育、ボランティア通訳等の地域活動への参加、地域の人々との交流活動を行っている。	A, Ⓐ, C	行っている。	地域活動への参加交流あり。小中学校は交渉中。	担当者を決めて、交渉を継続的に行ってく。	
10.3	地域における日本語教育等を積極的に行っている。	A, B, Ⓒ	行っていない。	開校間もない為、手がついていない。	開始時期を決めて準備を行っていく。	
10.4	地域の文化施設や自然、伝統行事等を学生指導に取り込み、活用できている。	Ⓐ, B, C	活用できている	地域的に季節ごとの伝統行事も多く、指導にも取り入れている	特になし	
11. 情報公開		評価	ア. 現状認識	イ. アの根拠	ウ. 解決方法	エ. 参考資料
11.1	機関の設置者、教育内容、定員、進路等の情報をホームページ等で公開している。	Ⓐ, B, C	公開している	ホームページで公表している。	特になし	パンフレット、募集要項、日本語学校ホームページ、学則、自己点検表、認定日本語教育機関の認定等に当たり確認すべき事項
11.2	募集及び納付金に関する情報を公開している。	Ⓐ, B, C	公開している	ホームページで公表している。	特になし	
11.3	入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っている。	A, B, Ⓒ	行っていない。	日本語のみの公開になっている。	特になし	
11.4	情報は十分に整理されて公開されており、必要な情報がどこにあるかが分かりやすく示されている。	Ⓐ, B, C	示されている	ホームページで適切に公表している。	特になし	
11.5	公開されている情報は常に最新のものに更新されている。	Ⓐ, B, C	更新されている	最新情報をホームページで公表している。	特になし	

総括

課題及び改善内容

2024年10月開校の新規校だが、教育内容カリキュラムに関してはCEFRに準じて構築し、常に教員間での検討会勉強会も行っている。財政的には問題はなく、学生も大型電子黒板の使用で楽しく学んでおり出席率を高く保っている。職員研修も2・3か月ごとに行い意見交換や検討会を進めている。外部地域への働きかけは主に校長が担っているが、コロナ以降、相手側も様々な制限があり、交渉中ではあるが、難航しているところである。それでも清掃ボランティアなどは双方に良い学びがあり今後も広げて行きたい。

■総合評価と改善計画総合評価

総合評価
【達成状況】 開校10か月余り、概ね達成できていると感じているが、非漢字圏の学生の一部で、本国の学習状況に日本との差異を感じる。しかしながら地道にコツコツと学んでいくことで身に着くことであり、教職員が親身になって寄り添っていけばそれぞれの達成は難しくないだろう。進学卒業組は着々と目標達成に近づいている。
【課題・改善計画等】 本国での学習環境とは異なる場所や方法で、計画通りの進捗では付いていけない学生を見かけるようになってきた。そこで取りこぼしのない教育、学校運営としては長期休暇の時期に、専任教師による補講の実施をし、また生活上で何か支障があるのか、細かい対応が必要と思われる。そのために今後は心理的アドバイスができるようなカウンセラーの設置も考えたい。

評価方法

- A:「達成されている」あるいは「適合している」項目
- B:「一部未達成」であるが、1年を目途に達成あるいは適合が可能な項目
- C:「未達成」あるいは「適合していない」項目

- ① 2.3 管理、運営のための諸規程を整備しきれていないので、順次体制を整えていく。
- ② 2.8 コンプライアンス意識向上のため担当者を定めて取組を行われていないので、担当者を早急に決めて、今年度中に取り組みを行いたい。
- ③ 10.3 小中学校の国際理解教育、ボランティア通訳等の地域活動への参加、地域の人々との交流活動をより推進していく。
- ④ 11.3 入学希望者やその関係者に理解できる言語で情報提供を行っていないので、今年度中には整備を行う。

■実施方法・実施体制・実施時期・

- 責任者を校長とし、本校教職員にて内部点検を行う。
- 集計後に改善策を全体会議で決定する。
- 評価結果は本校ホームページで公表する。
- 内部点検を毎年3月頃に行う。